

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 2 部門第 3 区分  
 【発行日】平成 17 年 12 月 22 日 (2005.12.22)

【公開番号】特開 2002-18757 (P2002-18757A)  
 【公開日】平成 14 年 1 月 22 日 (2002.1.22)  
 【出願番号】特願 2000-203969 (P2000-203969)  
 【国際特許分類第 7 版】

B 2 5 J 15/06

B 2 5 J 15/00

B 2 5 J 15/04

B 6 6 C 1/02

【F I】

B 2 5 J 15/06 H

B 2 5 J 15/00 D

B 2 5 J 15/04 Z

B 6 6 C 1/02 B

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 11 月 8 日 (2005.11.8)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0019

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0019】

次に各組の吸着パッド 10 について説明する。

先ず、各吸着パッド 10 は図示のものにおいては、外側吸着パッド 10 a とこれより一  
 周り小さい内側吸着パッド 10 b が二重に重ね合わせてあり、各吸着パッド 10 a、10  
 b は強靱な鋼板性の上下 2 枚の支持板 11 および 12 によって、弾性のあるゴム板（軟質  
 合成樹脂、弾性合成樹脂を含む）13 を挟持して、支持部 14 がそれぞれ構成されており  
 、この支持部 14 は山形に湾曲した部分円筒形状の二次曲面に形成しており、支持部 14  
 の平面形状は概ね楕円乃至長円形状としてある。

図 2 に示す態様に於いては外側吸着パッド 10 a の下側の支持板 12 と内側吸着パッド  
 10 b の上側支持板 11 とは一体化した支持板 12 a としてある。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0028

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0028】

実施の形態 1、2 及び後述の実施の形態 3、4 において、前記第 1 減圧ライン 30 及び  
 第 2 減圧ライン 31 の途中にはそれぞれ若しくは任意の数の吸着パッドを一グループとし  
 て或いは一括して、真空タンク 3 寄りより、吸着用電磁弁 32、フィルター 33、手動ス  
 ライド弁 34 が接続してある（図 5 参照）。各減圧ライン 30、31 は本体フレーム 1 に  
 添って、ホース又はパイプで設けてもよいが、本体フレーム 1 自体の一部を仕切って、各  
 減圧ラインとする場合もある。

また各手動スライド弁 34 を個々の外側及び内側吸着パッド 10 a、10 b のそれぞれ  
 に設ける場合は、これら各吸着パッド 10 a、10 b に対し、前記手動スライド弁 34 と  
 並列に外気開放弁 35 を設ける場合もある。

前記の外気開放弁 3 5 は独立して設けることなく、前記手動スライド弁 3 4 又は吸着用電磁弁 3 2 を三位置制御弁（図 5 参照）または二位置制御弁とし、そのうちの一つ位置において真空タンク 3 側を閉じ、外気側を開放するものを用いてもよい。

また、外気開放弁 3 5 は、真空タンク 3 寄りに設け、外側吸着パッド 1 0 a、又は 1 0 b 内側吸着パッドを数グループに分け、各グループ別に開放可能できるようにする場合もある。

これら吸着用電磁弁 3 2、手動スライド弁 3 4 及び外気開放弁 3 5 は上記の例に限定されるものではない。要は同様の効果を奏するものであればよい。